

## 第6学年 図画工作科学習指導案

### 1. 活動の指針（活動を通して育てたい力）

#### C-つくる喜び

表したい思いに合ったつくり方や表し方を進んで試したり、つくったりつくり直したりしながら、自分の思いを形や色でつくりだしていく喜びを味わうことを大切にしていく。

### 2. 題材名

「一つだけの花」 ～わたしの思い～ - 5時間扱い - （工作に表す）



### 3. 活動の指針と題材のかかわり

小学校生活最後の年となって2カ月が過ぎた。子どもたちにとっては毎日が卒業までのカウントダウンとなっている。6年生になっているいろいろな作者の顔の作品を鑑賞し、さまざまな顔や表現方法があることを知り、そのあとに6年生になりたての自分の顔をかいた。

次に「私の好きな場所」という絵の題材に取り組んだ。子どもたちは屋上や校庭・校舎内の好きな場所を選び、意欲的にかき始めた。中心になるものを決め、遠近を意識しながら下がきをし、空の色や校舎は同じ色ではないことを確認しながら彩色をした。その作品が単に写生にならないように、その場所を選んだ思いが他の人に伝わるように思いを込めてかくようにと指導した。自分の思いをかいたり製作したりすることが好きな子が多い反面、技術がともなわずに自分の思いを表現しきれないでいる子もいる。

そんな子どもたちに今から卒業式の自分を思いえがき、その思いを大切に生活して行ってほしいという願いから本題材を設定した。子どもたち一人ひとりに不思議な一粒の種（球根）を思いえがき、それを育てる。子どもたちはその種がどんなふう成長するのか？どんな花が咲くのかを想像しながら自分の思いや願いを込める。そうして自分のイメージに合わせてどんな花を咲かせたいのかを思いえがき、自由に自分らしい表現をさせたいと考えている。その思いに合わせて、素材を選んだり、形や色を工夫したり、空間を十分に使いのびのびと表現させたい。そして、その花に込めた思いが卒業と同時に花開くようにと願っている。

#### 〔共通事項〕

ア 自分の感覚や活動を通して、形や色、動きや奥行きなどの造形的な特徴をとらえること。

イ 形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつこと。

#### 4. テーマにせまるための具体的な手だて

##### (1) 視点1「思いをふくらませる」

- 「一粒の不思議な種（球根）をあげるよ。自分の好きなように咲かせてみよう。」と投げかける。と同時に9ヶ月後には小学校を卒業していくこと。それに向けて大きな花を育て咲かせようと声をかける。ここでいう花とは、一輪で咲く花に限らず、草木でもよいこと、また花ではなく幹や葉にこだわってもいいことを伝え、自由に思いをふくらませられるようにする。
- 「一粒の不思議な種（球根）」も簡単に自分でつくらせ、その種から自分の感性を働かせるようにする。そうすることにより、その種に自分の願いや思いが込められ、成長させ花を咲かせようとする自発的な活動になると考える。
- アイデアスケッチをかく時に、自分の思いや願いが詰まったものになるようにイメージした言葉を書いておくようにする。イメージを広げたり深めたりするキーワードとなると考えられる。
- 発想の豊かさには個人差があるので、必要に応じて植物図鑑や写真集を利用し、自分のイメージをもつきっかけとしたい。考えながら、作業しながら自分の発想を膨らませ、自分の思いに合わせた発想に繋がるように個々に対応していきたい。

##### (2) 視点2「思いをかたちにする」

- いろいろな素材の紙や材料を用意し、自分で探して持ってくることによって、子どもたちは自分の思いやイメージに合わせた材料を選び、表現をかたちにすることができるようにする。
- 多様なかたちが生まれるように、また活動のヒントがほしい子のために、いくつかヒントコーナーに技法的なサンプルを用意して参考にさせる。その時、あまり数多く置いたり、出来上がったものを置いたりしないように気をつける。
- 必要に応じて、接着の仕方やカッター・ペンチの使い方などを個々に指導し、活動への不安をなくすように配慮する。
- 組み合わせや組み立てをしていく時に、切ったり・つなげたり・重ねたり、貼り合わせたりしながら、子どもたちは自分がイメージしたかたちにあらわそうと試行錯誤しながら取り組む。このような取り組みの中でまた新たな思いが生じ、新しい技法が生まれると考える。
- 途中鑑賞を設け、友だちの作品を見たり自分の作品を紹介したりすることにより、自分の思いをより鮮明にし、互いの思いを知ったり、さらに自分の思いをふくらませることができるようにする。

#### 5. 題材のねらい

- 一粒の種（球根）から、成長し咲いた花（植物）を想像し自分なりの方法で表現する。
- 自分のイメージに応じて形や色を工夫し、思いが伝わるように工作に表す。

#### 6. 題材の評価規準（重観点・・・◎）

	造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
評価規準	○一粒の種から思いをめぐらせ、そこから育つ何かを計画的に興味をもって表そうとしている。	○自分のもつイメージから花の表現を見つけ、自分のイメージが表れるように思いをふくらますことができる。	◎切る・つなぐ・重ねる・貼りあわせるなど表現したいイメージに合わせて素材を選び、立体に表現することができる。	○自分や友だちの作品を見たり、思いを伝え合ったりし、形やバランスの面白さや表現のよさを感じあうことができる。

## 7. 準備

<児童>筆記用具・油性ペン・はさみ・自分で集めた材料 等

<教師>オアシス・カッター・カッター版・色画用紙・新聞紙・アルミ針金・色段ボールモール・割り箸・両面テープ・のり 等

## 8. 指導と評価の計画（5時間扱い）

時間	○活動内容 ☆★予想される子どもの姿	◆教師の働きかけ [評価規準]・・・評価方法
一次 4 5 分	<div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <b>心の中に一粒の種をまこう！</b> </div> <p>○心の中に一粒の種をまいて、それを自分の中で好きなように咲かせてみることを知る。</p> <p>☆わくわくしながらイメージを膨らませている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おもしろいかたちの葉っぱにしたいな。</li> <li>・小さくてもいいからかわいい花を咲かせたいな。</li> <li>・どんどん上に伸びる花にしよう！</li> </ul> <p>★どんなふうにしたらいいのかわからなく、戸惑っている。</p> <p>○自分のイメージに合わせて、種や球根をつくる。</p>	<p>◆6年生になった今の自分を見つめて、卒業する時にはどんな花を咲かせたいのかを自由に考えさせる。</p> <p>◆いろいろなイメージが湧くようにヒントになる言葉を投げかけたり、実際にある植物を思いえがかせたりして、いろいろなイメージを引き出すようにする。</p> <p>◆自分のイメージを広げるために友だちの考えを参考にさせる。</p> <p>【関】・・・活動の様子・つぶやき・発言</p> <p>◆これから育てる基になるものであることを知らせる。</p> <p>◆考えるもとになるが、メインの活動ではないのであまり時間をかけずに取り組ませる。</p>
	<div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <b>「一つだけの花」素敵に咲かせたい花をイメージしよう！</b> </div> <p>○言葉やマインドマップで自分のつくりたい花のイメージを膨らませる。</p> <p>○自分のイメージをもとに、アイデアスケッチを描く。</p> <p>☆自分のイメージした花をどんどんかき、思いが広がっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・茎がしっかりとした花をつかってこの一年頑張ろう。</li> <li>・たくさん花たちをつくりたいな。友だちいっぱいほしいから。</li> </ul> <p>★表したいものや思いがもてずに困っている。</p>	<p>◆6年生という大きく成長できる時期の自分自身への夢や希望を込められるようにする。</p> <p>◆一人ひとりがもっている思いを大切にし、そこからイメージが広がっていくように共感しながら話を聞く。</p> <p>◆活動していくうちに思いが深まることや思いが変わったりしてもいいことを伝える。</p> <p>◆実際にあるいろいろな花を思い浮かばせたり、図鑑で見せたりしてイメージづくりのきっかけをつくる。</p> <p>【関】・・・活動の様子・つぶやき・会話</p>

アイデアスケッチをもとに、自分だけの花を咲かせよう！

<p>二次 1 3 5 分</p>	<p>○アイデアスケッチをもとに、自分がイメージした花をつくる。          ☆イメージを膨らませながらいきいきと活動を始めよう。          ・はじめは葉からつくろう。大きさを考えてみよう。          ・大きな花は色画用紙を重ねてつくってみよう。          ・材料のメインは新聞紙にして茎からつくろう。          ★つくりたいもののイメージはあるが、何から始めていいのか分からない。</p>	<p>◆イメージを大切にしながら、何を最初にやったらいいのかを考えさせながら計画的に取り組ませる。          ◆子どものイメージを大切にしながら、よりイメージに近づけるために思いを聞きながら材料を選ぶようにアドバイスをする。          ◆何からつくってもいいことを知らせ、よりよい手順をアドバイスし、一緒に材料を考える。          ◆発想を大切にしながら、イメージどおりにできるように一緒に方法を考えたり、表現が変わったりしてもよいことなどを知らせる。</p>
<p>本時 4 5 ／ 1 3 5 分</p>	<p>☆自分のイメージどおりに活動が進み、新しい技法を取り入れながら工夫しながら活動をしている。          ・そうだ。この葉っぱに切り込みを入れて後ろから違う色を重ねてみよう。          ・何本も何本もつくったのをつなげてみよう。          ・モールやアルミ針金で巻いてイメージに近づけてみよう。          ★バランスがとれずに崩れてしまい、困っている。          ★考えていたのと違い、戸惑っている。</p>	<p>◆全体の参考になるような活動があれば、みんなに紹介する。          ◆一緒に活動しながら、どうやったらバランスがとれるのかを考えたり、アドバイスをしたりする。          ◆アイデアスケッチと違っていいことを伝える。          【技】・・・活動の様子・表情・つぶやき          作品</p>
<p>三 次 4 5 分</p>	<p>○自分の思いを込めた作品を紹介したり、友だちの作品の紹介を聞いたりしてお互いの思いを知る。          ☆思い通りに作品が仕上がり、自信をもって紹介している。          ・私は大切な友だちを大切にしたいので友情をテーマにしました。          ★自分の作品に自信がもてずに、とまどっている。</p>	<p>◆それぞれの作品には願いや思いが詰まっていることを感じられるように紹介したり聞いたりできるように指導する。          ◆自分の作品のよさに気づかせ、具体的にどこがいいのかを知らせ自信をもたせる。必要に応じて補足をする。          【鑑】・・・発表・鑑賞カード</p>


お互いの作品を紹介しあって、  
 思いを伝えあおう！感じあおう！

## 9. 本時の活動と指導（4／5時間）

### （1）目標

- ・自分だけの一つの花を自分の思いをよりよく表現できるように材料や表現方法を工夫しながらつくる。

### （2）展開

時間	○活動内容 ☆★予想される子どもの姿	◆教師の働きかけ 【評価規準】評価方法
4 5 分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;">                     自分の思いを込めて自分だけの「一つだけの花」を咲かせよう！                 </div> <p>○アイデアスケッチや今までつくった自分のパーツを見て、今日の活動の見通しをもつ。</p> <p>○今日の活動で工夫したいことや困っていることなどを発表する。</p> <p>☆思い通りに活動が進み、早くやりたくてしかたがない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・もうどうやるか考えてきたよ。早くやりたいよ。</li> <li>・もっと、たくさんの花をつけたいけど、どこにどうやってつけたらいいのかな？</li> </ul> <p>★思い通りにできなくてつまらない。</p> <p>○自分の思いに合わせて「一つだけの花」をつくる。</p> <p>☆自分の思いを大切にしながらどんどんつくっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この前つくった花びらをたくさん重ねてみよう。うん、思ったとおりだ。</li> <li>・茎の新聞紙に針金を巻きつけて、もっと動きのあるものにしてみよう。</li> </ul> <p>★イメージ通りにできず、何をどう工夫したらいいのかわからない。</p>	<p>◆今日、自分がやるべきことを確認させ見通しをもたせて活動させる。</p> <p>◆お互いに共感して聞いたり、アドバイスをしたりできるように指導する。</p> <p>◆一人ひとりの子どもの思いを大切にするように、時間はあまり長くとらないようにする。</p> <p>◆子どもの思いに寄り添い、話を聞きながらアドバイスをする。</p> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <p>◆活動を見守りながら、思いを聞いたりよりよい方法はないかを一緒に考えたりする。</p> <p>◆作品がたてや横に大きくなったり、吊るしたりしてもいいことを伝える。</p> <p>◆おもしろい工夫した表現やみんなに伝えたい思いは必要に応じて、子どもたちに伝える。</p> <p>◆友だちの作品やヒントコーナーの作品を参考にしていることを知らせ、いろいろな表現方法があることを知らせる。</p>

○「一つだけの花」に合わせて、花瓶に入れたオアシスにさし、飾る。

☆自分のイメージに合わせて花瓶になるものを持ってきていて、意欲的に活動している。

・家から花瓶を持ってきたよ。このリボンで飾ろう。

・ペットボトルを利用してつくってみよう。

★花瓶を持ってくるのを忘れ、活動ができない。

・家に花瓶になるものがなかったよ。

○制作した作品を紹介しあい、今日の活動を振り返る。



◆自分がつくる「一つだけの花」のイメージに合わせて、自分なりの花瓶や包装紙を事前に準備させる。

◆どんなイメージのものを使いたいか話を聞き、こちらが用意したものを見せる。

◆数名の子どもに今日の活動で工夫したところや自分が作品に込めた思いを発表させる。

◆まだ完成していない子どもには、次の時間が少しだけあることを伝える。

**【技】** 自分の思いをよりよく表現できるように材料や表現方法を工夫しながらつくっていたか。

## 図画工作科

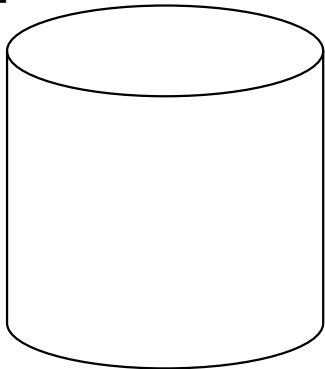
### 「一つだけの花」～わたしの思い～

6年 組 名前 ( )

\*卒業まであと十カ月となりました。そこで、一粒の種（球根）をひとりひとりにあげましょう。あなたが育てた花（草木）はどんな花を咲かせるでしょう！（どんな植物に育つでしょう！）それをイメージして思いがいっぱいまったあなただけの花を咲かせましょう。

#### <アイデアスケッチ>

種



イメージした言葉 ( )